

令和 6 年度 事業報告

自 令和 6 年 4 月 23 日

至 令和 7 年 3 月 31 日



1. 概要

日本救急救命士会は、定款第3条において、「救急救命士が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき、救急医療の質の向上を図るとともに、国民の幸福を追求し続けられる環境づくりを推進し、社会のあらゆるニーズに応える救急救護領域の開発と展開を図ることにより、国民の安全と安心に寄与することを目的とする。」と定めている。定款第4条において、目的を達成するために以下の事業を実施することとしている。

- (1) 救急医療の質の向上に関する事業
- (2) 救急救命士の教育と研修に関する事業
- (3) 職業倫理の向上に関する事業
- (4) 救急救命士制度への提言に関する研究事業
- (5) 救急救命士相互の職域を支援する事業
- (6) 救急救命士の就職支援に関する事業
- (7) 公共福祉の向上に関する事業
- (8) 他の医療従事者との連携事業
- (9) 学術研究の振興に関する事業
- (10) 救急救命士の国際交流に関する事業
- (11) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

定款に定めた目的および事業を達成するため、各種会議、委員会活動、発信活動等を実施した。

2. 組織の状況

① 会員数・協賛数（令和7年3月31日）

- 正会員 308 名
- 名誉会員 1 名
- 賛助会員 6 団体
- 年度協賛 1 団体

② 評議員

- 総数 124 名
- 任期 令和6年8月13日から令和9年度決算に関する定時社員総会まで

③ 役員

- 理事 17 名
- 任期 令和6年9月8日から令和7年度決算に関する定時社員総会まで
- 監事 3 名
- 任期 令和6年9月8日から令和9年度決算に関する定時社員総会まで

3. 会議実績

① 評議員会(社員総会)(定款第20・21条関連)

- 令和6年度 臨時評議員会 令和6年9月8日 Web開催
議事事項(全て承認)
 - ・役員選任について
 - ・評議員の追加選任について
- 令和6年度 定時評議員会 令和6年10月5日 東京(Webハイブリッド)開催
議事事項(全て承認)
 - ・非選挙監事選任
 - ・令和6年度事業計画
 - ・令和6年度予算
- 令和6年度 臨時評議員会 令和7年2月16日 Web開催
議事事項(全て承認)
 - ・新規入会に関する特例措置について
 - ・名誉会員の承認について

② 理事会(定款第34・35条関連)

- 令和6年度 通常理事会 令和6年10月5日 東京(Webハイブリッド)開催
議事事項(全て承認)
 - ・賛助会員入会の承認
 - ・非選挙監事選任
 - ・委員会の設置
 - ・担当理事の配置
 - ・委員長の選任
 - ・令和6年度事業計画
 - ・令和6年度予算
- 令和6年度 臨時理事会 令和6年11月13日 Web開催
議事事項(全て承認)
 - ・賛助会員入会の承認
- 令和6年度 臨時理事会 令和7年1月29日 Web開催
議事事項(全て承認)
 - ・救急救命士養成校(所)修了生の表彰に関する規程
- 令和6年度 臨時理事会 令和7年2月7日 Web開催
議事事項(全て承認)
 - ・弔慰規定
 - ・謝金規定
- 令和6年度 臨時理事会 令和7年3月12日 Web開催
議事事項(全て承認)
 - ・賛助会員入会の承認
 - ・年度協賛申込みの承認

4. 活動実績（当会主体業績）

令和 6 年 4 月 23 日	一般社団法人 日本救急救命士会 設立
令和 6 年 5 月 30 日	救急振興財団（救急救命東京研修所）へ報告・説明
令和 6 年 6 月 5 日	全国メディカルコントロール協議会連絡会 会長へ報告・説明
令和 6 年 7 月 11 日	日本救急救命士会 ウェルカムセミナー開催(オンライン)
令和 6 年 7 月 25 日	緊急座談会「救急救命士の処置拡大：アナフィラキシーに対する アドレナリンの筋肉内注射」開催(オンライン)
令和 6 年 8 月 13 日	第一期評議員選任
令和 6 年 9 月 8 日	第一期役員(理事・監事)就任 初代会長就任
令和 6 年 10 月 5 日	日本救急救命士会 設立記念フォーラム開催
令和 6 年 11 月 16 日	日本救急救命士会主催 オンラインセミナー開催 「JRC 蘇生ガイドライン令和 7<ファーストエイド>最新情報アップデート」
令和 6 年 12 月 15 日	日本救急救命士会主催 オンラインセミナー開催 「GRA Japan Chapter が推奨するハイパフォーマンス CPR の動向」
令和 6 年 12 月 2 日	東京都薬剤師会 会長へ挨拶
令和 7 年 2 月 4 日	日本救急救命士会主催 オンラインセミナー開催 「日本臨床救急医学会 PACC コース講義の一部を紹介 ～病院前における循環器救急疾患への対応～」
令和 7 年 2 月 24 日	日本救急救命士会主催 第 48 回救急救命士国家試験応援セミナー開催
令和 7 年 3 月 6 日	日本薬剤師会へ挨拶
令和 7 年 3 月 18 日	日本救急救命士会主催 オンラインセミナー開催 「12 誘導心電図伝送がもたらす救命と予後改善 ～病院前における循環器救急疾患への対応～」 救急救命士の倫理綱領 公開（令和 7 年 4 月 23 日）

5. 活動実績（他団体からの派遣等の依頼）

令和 6 年 8 月 2 日	第 28 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 プログラム委員会 委員	喜熨斗 智也
令和 6 年 11 月 30 日	厚生労働省 令和 6 年度「人生会議」（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）普及啓発イベント『自分らしく生き抜くヒント～「人生会議」はじめてみませんか？～』出席	北村 浩一
令和 7 年 3 月 4 日	『政府広報オンライン：心肺蘇生法と AED で命を救おう！緊急時の対処法』撮影協力	長谷川 汐里 廣田 恵典
令和 7 年 3 月 12 日	国際医療福祉専門学校 卒業式 来賓	喜熨斗 智也 植田 広樹
令和 7 年 3 月 14 日	内閣府規制改革推進会議 第 2 回 健康・医療・介護 ワーキング・グループに出席	喜熨斗 智也 沼田 浩人

6. 活動実績（講演等の依頼）

令和6年6月1日	第2回静岡県救急救命士部会	植田 広樹
令和6年8月22日	令和6年度 一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会(JESA)総会	喜熨斗 智也
令和6年8月31日	第4回 日本病院救急救命士研究会	喜熨斗 智也
令和6年9月3日	第1回京都府病院救急救命士意見交換会	福岡 範恭
令和6年12月14日	第68回志太榛原救急医療研究会	喜熨斗 智也
令和7年1月16日	東京都薬剤師会 賀詞交歓会	北原 学
令和7年2月6日	救急救命士を支援する議員連盟（オブザーバー参加）	喜熨斗 智也
		福岡 範恭
令和7年2月7日	第2回京都府病院救急救命士意見交換会	福岡 範恭
令和7年3月19日	鹿児島県病院救命士 意見交換会	後藤 奏

7. 活動実績（メディア出演）

令和7年3月20日	Abema Prime 「AED 使用率どう上げる？」	喜熨斗 智也
		長谷川 汐里

8. 委員会活動実績

定款第4条で定めた事業を達成するため、以下の8つの委員会活動を実施した。

<総務委員会>

概 要	事務局と連携し、本会における総務全般、財務経理を担当し、各委員会の事業を支援する。さらに会員情報の管理、福利厚生、表彰及び他団体との情報交換等の事務業務を担当する。また、救急救命士の職域における課題やニーズを分析し、他の委員会と連携しながら将来に向けての計画を検討し、事業立案を行う。
委 員	○植田 広樹、○○中川 貴仁、中川 貴仁、水本 花子、中島 秀明、大滝 達也

○担当理事 ◎委員長

本年度 事 業 報 告	委員会 会議開催 4回(web) 1. 規程の整備(各委員会、慶弔、学業優秀学生表彰) 2. 養成校向け新規入会特別措置制度創設 3. 救命士養成施設に卒業・修了式典へ祝辞の送付 4. 名誉会員制度に基づく認定
-------------------	---

<学術・研究倫理委員会>

概 要	日本救急救命士会は、その事業の一つに、救急救護領域の学術に関する事業を掲げている。学術に対する綱領、救急救命士が行う研究に関する倫理指針、研究活動上の行動規範を定め、救急救命士が教育・学術・研究の研鑽に根ざした専門性に基づき、救急救護領域の質の向上を図ることを目的に、専門的知識や技術の進歩と開発に努め、救急救護領域の発展に寄与していく。
委 員	○一ノ瀬 佳彦、○萱沼 実、◎中川 洸志、勾坂 量、皆藤 竜弥、黒崎 久訓、田中 翔大、都 城治、守岡 大吾、松山 千恵美、北野 信之介

○担当理事 ◎委員長

本年度 事 業 報 告	委員会 会議開催 3 回 (Web) 1. 事業計画の策定 2. 研究倫理綱領、研究活動規範、研究活動指針のドラフトを作成 3. 学術解説記事の投稿に関する議論
-------------------	---

<教育・研修・多職種連携委員会>

概 要	救急救命士の専門性向上を目的とし、教育プログラムの作成と実施、臨床実習の質向上に向けた指導者のためのガイドラインの作成、他の委員会と連携したより効果的な教育企画の実施等を行う。また、多職種連携の推進として、救急救命士が活動する様々な現場における役割の明確化や各現場に適した多職種連携モデルの構築等に取り組んでいく。
委 員	○三上 剛人、○◎大石 奨、長橋 和希、齋藤 汐海、三本 健志、大野 健二、藤島 璃々子、向井 亮裕

○担当理事 ◎委員長

本年度 事 業 報 告	委員会 会議開催 3 回 (Web) 1. 活動方針の策定について ①短期計画(半年後、令和 7.3) 会員獲得のための事業周知 ・教育コンテンツの公開 ・各委員会セミナー 研究倫理 職業倫理 救急救命処置 ②中期計画(3 年後、2028.3) 会員の満足度向上のための活動 ・教育設計セミナー (ベーシック、アドバンス) ・病院救命士の臨床指導者認定 ・救急外来多職種連携モデルの提唱 ・多職種 (医療職問わず) の教育研修事例検討 ③長期計画(5 年後、2030.3)
-------------------	--

	救急救命士の誰もが均てん化された教育を受けることができ、各所属施設内において医療者としての地位が確立される状態となる。 ・各地域支部での独立型教育設計セミナー（ベーシック、アドバンス） ・各地域支部での他職種（医療職問わず）の教育研修事例検討 2. オンラインセミナー、講習会について ①オンラインセミナー ・令和 6/11/16 JRC 蘇生ガイドライン令和 7<ファーストエイド>最新情報アップデート 参加人数 79 名 ・令和 6/12/15 GRA Japan Chapter が推奨するハイパフォーマンス CPR の動向 参加人数 79 名 ・令和 7/2/4 日本臨床救急医学会 PACC コース～病院前における循環器救急疾患への対応～ 参加人数 125 名 ・令和 7/2/24 第 48 回救急救命士国家試験受験者応援&ウェルカムセミナー 参加人数 218 名 ・令和 7/3/18 12 誘導心電図伝送がもたらす救命と予後改善～病院前における循環器救急疾患への対応～ 参加人数 68 名 ②講習会 ・令和 7/2/15 日本臨床救急医学会 PACC コース 参加人数 57 名
--	--

<広報・キャリア支援委員会>

概 要	SNS やマスメディアを活用して、本会の使命・役割や活動実績の広報をすることで認知度の向上を図るとともに、救急救命士に対する社会的理解を浸透させ専門性の向上を図る。また、救急救命士の就職・転職や職場復帰に関する課題と解決策について検討し、会員の希望に沿ったキャリア形成の推進を図るための機会や充実したサポート体制の構築を実現する。
委 員	○津波古 憲、○○長谷川 汐里、鳴海 圭佑、木下 拓也、島 伶弥、宮部 泰直 加藤 明仁、柳 聖美

○担当理事 ○委員長

本年度 事業 報告	委員会 会議開催 1 回（Web） 教育・研修・多職種連携委員会との合同会議 3 回（Web） 1. Instagram および Facebook の運営 2. PR TIMES プレスリリース配信 計 13 回（非営利団体サポートプロジェクト参加） 3. ホームページに掲載するお知らせの作成（オンラインセミナー開催の案内等） 4. 会員向け NEWS メール配信（JELSTA の活動報告やセミナー、関連学会等のお知らせ等） 5. 雑誌 Emer-Log（エマログ）への記事掲載（内容：設立記念フォーラム）
-----------------	---

	6. 救急救命士に関する通達文書のまとめについて委員会内で検討を開始 7. 学生向け救急救命士国家試験応援セミナー開催 8. 厚生労働省コンテンツ心肺蘇生動画制作協力依頼対応（窓口担当） 9. 広報用リーフレットやチラシ、スライド資料等の作成 10. 救急救命士養成校宛のチラシ作成（特例措置の案内） 11. 各種医療系学会等での広報活動（学会展示の申込み等） 12. 広報委員用のメールアドレス発行（PR TIMES プレスリリース等に掲載） 13. 『政府広報オンライン：心肺蘇生法と AED で命を救おう！緊急時の対処法』撮影協力（窓口担当） 14. セミナーオンデマンド配信に関する動画編集 15. 厚生労働省「Job Tag」救急救命士の紹介ページ更新依頼対応（提出済）
--	---

<職業・専門職倫理委員会>

概 要	救急救命士の専門性を向上させ社会に対する信頼性を確立するため、救急救命士が活躍するあらゆる現場において遵守すべき専門職の倫理基準を策定し、救急救命士に与えられた社会的責任を果たすための行動指針を明示することを目的とする。併せて、救急救命士の専門職倫理に基づく適正な現場活動を確保するため、専門職としての実践ガイドラインを策定する。
委 員	○◎澤田 仁、眞野 一樹、長谷川 瑛一、郷田 爽真、久保田 竜也

○担当理事 ◎委員長

本年度 事業 報告	委員会 会議開催 4 回（Web） 1. 救急救命士の倫理綱領策定 ①救急救命士の倫理綱領（委員会案）を理事会に提示（1/5） 看護師や N A E M T（NATIONAL ASSOCIATION OF EMERGENCY MEDICAL TECHNICIANS）等の倫理綱領を基に検討を重ね、委員会案を策定して理事会に提示した。 ②修正案の提示および理事会承認（2/23） 理事会意見を基に委員会案を再検討し、修正案を理事会に提示して承認を得た。 ③パブリックコメントの募集（3/1～3/7） 救急救命士の倫理綱領（案）に対するパブリックコメントを募集した。 ④救急救命士の倫理綱領理事会承認（4/12） パブリックコメントを委員会で検討し、最終案を理事会に提示して承認を得た。 ⑤救急救命士の倫理綱領策定・公表（4/23） 救急救命士の倫理綱領を策定し、日本救急救命士会ホームページに公表した。
-----------------	---

<救急救命処置委員会>

概 要	救急救命処置の技術の向上および質の高い救急活動が安全、確実かつ円滑に行われるよう、救急救命処置に関する研究やデータ収集を通じて、救急救護領域の発展に寄与することを目的として活動を行う。また、救急救命士を取り巻く現状の課題を抽出するとともに、新たな救急救命処置、および対象等の拡大・変更の議論に対して、関係省庁・機関と協力関係を築き、提言を行い、国民の生命を守るために救急救命士の職能向上に努めるための活動を行う。
委 員	○沼田 浩人、○吉井 友和、◎林 智貴、安達 颯太、野口 佐弥香、高田 康平 高橋 和也、鈴木 健介、川崎 知美

○担当理事 ◎委員長

本年度 事業 報告	委員会 会議開催 5 回 (Web) 1. 救急救命処置拡大に向けた状況把握のための検討 2. 各領域の現状や要望把握の検討 (消防・医療機関・公的機関・民間等) 3. 各領域の相互理解のための座談会開催計画立案 4. 3 における座談会アンケートで得られる救急救命士の処置拡大に関する意識と課題についての質的量的調査の検討 5. 内閣府規制改革推進会議ヒアリングにおける情報提供
-----------------	---

<災害・公共福祉委員会>

概 要	地震、台風等の災害により生じた傷病者を救護する救急救命士の役割は重要であり、その期待は大きい。本委員会は、近年の激甚化する大規模自然災害等に対して、様々なフィールドで活動する救急救命士の役割、業務内容、災害支援等について検討し、関係する各種団体と協力し、活動を行う。また、公共福祉を高めるため、各種行事における救急救護の普及啓発等、公益目的事業の推進についても併せて検討を行う。
委 員	○宮崎 伊佐夫、◎小田 浩文、本田 茂人、丹羽 一晃、尾中 秀行、廣田 恵典、高橋 貴美 小松 義孝、堀越 涼平、小森 一稀、竹内 一之、小森 健史、加藤 渚

○担当理事 ◎委員長

本年度 事業 報告	委員会 会議開催 5 回 (Web) 1. 本委員会の検討内容について ①災害・公共福祉に関して救急救命士が抱える課題等をそれぞれの立場から意見交換 ②課題と解決策等を検討するにあたり今後の方針を検討 ③検討事項が多岐にわたるため今後は小委員会に分けて検討することで意見一致 ④委員会の下部組織として災害小委員会、公共福祉小委員会を設置、令和 7 年度から各小委員会で検討開始予定 2. 厚生労働省から政府広報におけるビデオコンテンツ撮影協力 ①政府広報オンラインにおける心肺蘇生の動画コンテンツ特集ページ協力依頼
-----------------	--

	②喜熨斗会長、北原副会長、広報・キャリア支援委員会の協力のもと、本委員会委員が立ち会い、国士舘大学学生が出演して動画撮影 ③令和7年3月4日、政府広報オンラインページにて『心肺蘇生とAEDで命を救おう！緊急時の対処法』公開開始
--	---

<国際委員会>

概 要	本会の関連する委員会と協力し、世界中の救急医療に関する知識や技術の共有、国際的なガイドライン策定や研究への参画、そして海外の救急救命士職域団体との連携を図る。また、国際会議への参画や海外等研修プログラムを通じて、日本の救急救命士の国際的な地位向上とネットワーク構築を目指し、本邦の救急救命士の資質向上に寄与する。
委 員	〇〇菊地 誠二、原 貴大、三芳 智伸、木村 龍、森下 優似、若松 淳

○担当理事 ◎委員長

本 年 度 事 業 報 告	委員会 会議開催 2回 (Web) 1. タイで実施された EMS Asia において、NAEMT(全米救急救命士協会)および世界各国(台湾、シンガポール、カナダ、香港)の関連団体との今後の連携について調整、意見交換を行った。 2. SNS を活用した会員の国際活動についての情報発信について、後方キャリア支援委員会と連携し、実施要領について具体化を図った。 3. カンボジアの救急医療体制強化事業への参画について調整を進めた。現時点で、令和7年に委員を派遣予定。
---------------------------------	--

以上